

米づくり情報(平坦部) 第3号

令和7年7月16日

佐賀県農業試験研究センター 本場

本年産水稻の生育状況(7月16日)

移植日	項目		草丈 cm	茎数 本/m ²	葉齢 L	葉色 SPAD	概況 (平年または前年との比較)
	品種	年次					
6月18日	夢しずく	本年	50.4	331	9.2	41.0	[気象] 7月9日～15日まで ◆平均気温…2.4℃高い ◆日照時間…長い (平年比 140%) ◆降水量…少ない (平年比 12%) [生育] ◆草丈 「ヒノヒカリ」はやや高く、その他の品種は高い。 ◆茎数 「夢しずく」でやや多く、その他の品種は多い。 ◆葉齢 「夢しずく」、「ひなたまる」、「ヒヨクモチ」はやや進んでいる、「ヒノヒカリ」、「さがびより」は進んでいる。 ◆葉色(SPAD 値) 「さがびより」、「ヒヨクモチ」はやや濃い、「夢しずく」、「ヒノヒカリ」、「ひなたまる」は濃い。
		平年	45.0	318	9.0	31.1	
		平年比(差)	112	104	(+0.2)	(+9.9)	
6月18日	ヒノヒカリ	本年	40.4	464	9.7	42.6	
		平年	38.9	431	9.1	40.3	
		平年比(差)	104	108	(+0.6)	(+2.3)	
6月18日	ひなたまる	本年	50.3	451	10.0	45.9	
		前年	44.9	273	9.6	42.8	
		前年比(差)	112	165	(+0.4)	(+3.1)	
6月20日	さがびより	本年	41.7	420	9.4	41.7	
		平年	38.8	315	8.9	40.9	
		平年比(差)	107	133	(+0.5)	(+0.8)	
6月20日	ヒヨクモチ	本年	38.3	742	9.8	43.2	
		平年	35.9	560	9.5	41.6	
		平年比(差)	107	133	(+0.3)	(+1.6)	
留意点	○必要な茎数が確保された品種は、中干しを実施する。「夢しずく」は7月下旬頃に幼穂形成期となるため、それまでに中干しを終了する。 ○生育量が例年に至っていない、茎数が少ない圃場は浅水・間断灌水管理により、できるだけ茎数の確保に努める。その際の中干しは時期を遅らせ、やや軽めにとどめる。 ○トビイロウンカ及びコブノメイガの発生に注意し、適期防除に備える。						

注1)「夢しずく」、「ひなたまる」、「ヒノヒカリ」は、6月18日移植の稚苗(播種期 5/26, 播種量 湿粳 180g/箱)

「さがびより」、「ヒヨクモチ」は、6月20日移植の稚苗(播種期 5/27 播種量 湿粳 180g/箱)

2)栽植密度: 「夢しずく」は、条間 30 cm × 株間 17 cm, 19.6 株/m²(65 株/坪)

「ひなたまる」は、条間 30 cm × 株間 18 cm, 18.5 株/m²(60 株/坪)

「さがびより」は、条間 30 cm × 株間 20 cm, 16.7 株/m²(55 株/坪)

「ヒノヒカリ」「ヒヨクモチ」は、条間 30 cm × 株間 15 cm, 22.2 株/m²(73 株/坪)

3)栽培管理: 施肥法は県基準に準じ、防除他はセンターの慣行による。

4)平年値は、収量について過去の全試験年次の標準偏差(σ)を算出し、±1σの外側にある年次を除く年次を対象にした、各項目の単純平均値を7月16日に換算した値。

5)「ひなたまる」については R6 年産から試験開始のため、前年との比較。

6)概況欄の平年値との比較については、以下のように定義している。

低い(少ない): 94 以下、やや低い(やや少ない): 95~98、平年並み: 99~101、

やや高い(やや多い): 102~105、高い(多い): 106 以上。

【窒素の時期別施用量 (N kg/10a)】

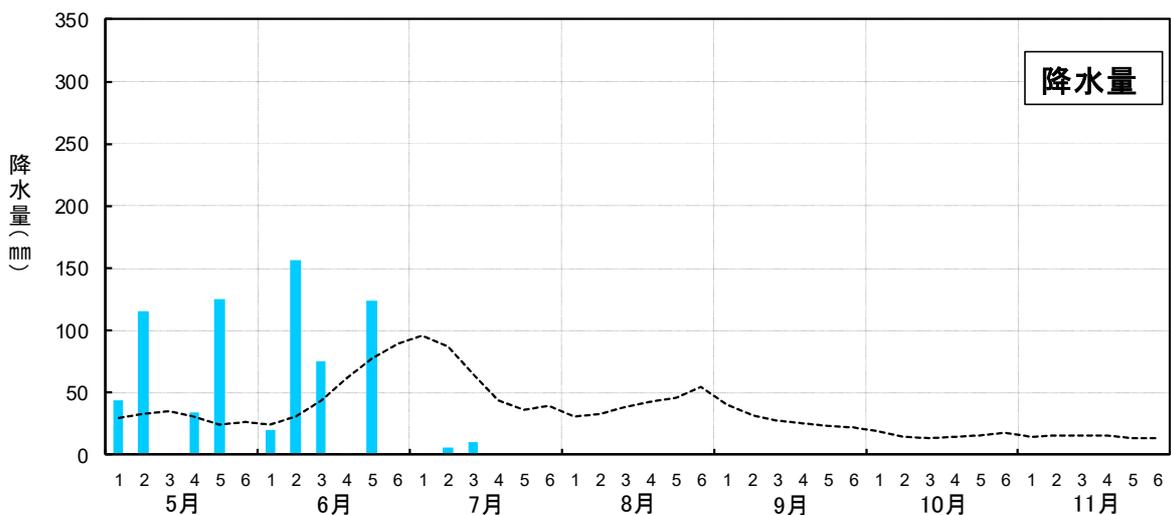
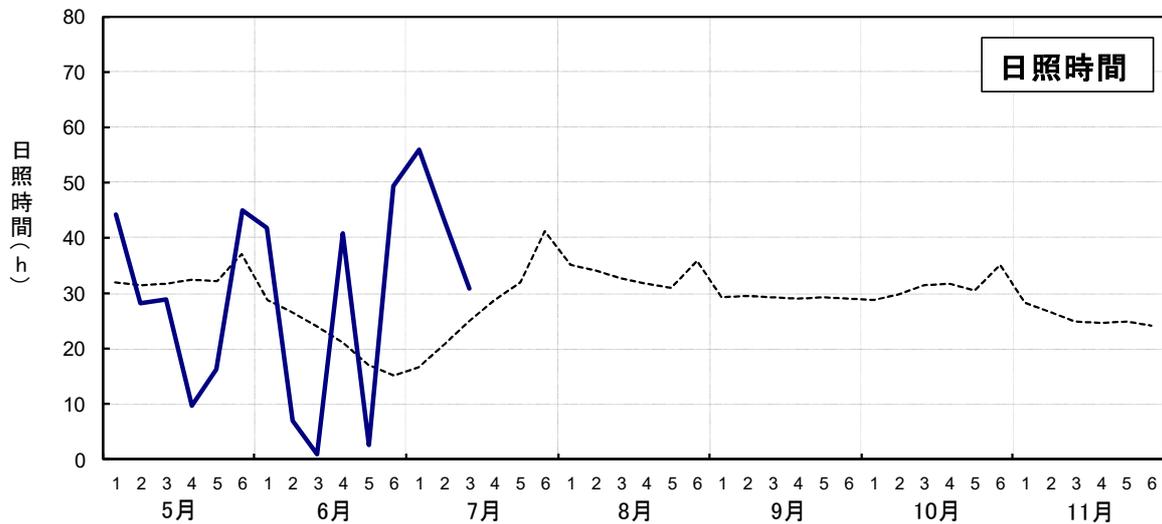
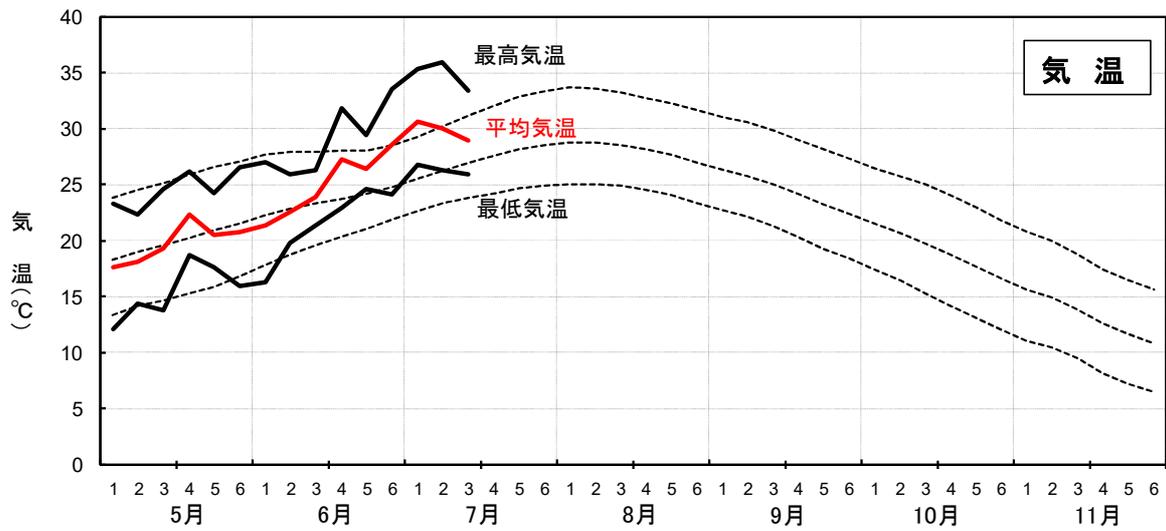
品 種	基 肥	中 追	穂肥 I	穂肥 II	実 肥
夢しずく	3.0	0.0	2.0	—	—
ヒノヒカリ	4.0	2.0(7/9)	3.0	—	—
ひなたまる	4.0	2.0(7/9)	3.0	—	—
さがびより	5.0	0.0	2.0	—	—
ヒヨクモチ	4.0	3.0(7/16)	4.0	1.5	1.5

※括弧内の日付は農試作況圃場における施用日

令和7年産 稲作期間気象図

アメダス観測値(佐賀)

農業試験研究センター
作物栽培研究担当



●病害虫に関する情報は以下のリンク(農業技術防除センター病害虫防除部)より確認ください。

<https://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>